

『がん検診、早いこと受けとかがあで!』

平成 29 年度がん検診のご案内

町では、6月から胃がん・肺がん・大腸がんのセット検診を行います。がん検診は、がんの予防、早期発見、そして早期治療に役立ちます。皆さん、この機会にがん検診を受けましょう。

受診券とご案内は対象者に5月下旬に郵送しますので、ご確認ください。



	対象者	検査項目	自己負担金
胃がん検診	40歳以上 (昭和53年4月1日 より前に生まれた人)	バリウム検査(胃エックス線撮影)	700円
肺がん検診		胸部レントゲン	100円
		喀痰検査	200円
大腸がん検診		便潜血反応検査(2日法)	100円

- ◆案内文と受診券の裏面を読んでから受診してください。
- ◆検診日当日は、受診券、健康手帳、健診費用を忘れずに持参ください。
- ◆胃がん検診を受ける人は、検査の前日午後10時以降から検査まで、何も飲食しないでください。(薬、牛乳、水、お茶、タバコ、アルコールなども一切取らないでください)

▶集団検診日程表

○胃がん検診・大腸がん検診・肺がん検診

【受付時間】午前8時～午前10時

実施日	会場	対象地区
6月14日(水)	山村開発センター	根雨1・3・4・6区、三谷1・2区
6月15日(木)	山村開発センター	根雨5区、貝原、高尾、後谷、金持、板井原
6月22日(木)	山村開発センター	根雨2区、津地、安原、下榎1・2区、野田
6月28日(水)	町公民館	黒坂5・7区、久住、下黒坂、根妻、中菅、中菅中央
7月5日(水)	町公民館	下上菅、中上菅、上上菅、井ノ原、諏訪、漆原、下福長、近江、畑、小河内、布瀬谷
7月6日(木)	山村開発センター	濁谷、門谷、秋縄、三土、上本郷、下本郷、榎市、小原、別所、舟場
7月12日(水)	町公民館	黒坂1・2・3・4・6区、下菅

※休日のがん検診(胃・肺・大腸)は実施しませんので、ご注意ください。

◆肺がん・胃がん・大腸がん検診は集団検診のみとなります。

大腸がん検診は窓口でも受付けています

検診日以外でも検査容器を受け取ることができます。

【期間】6月14日(水)～7月14日(金)の平日のみ 【時間】午前8時30分～午後5時15分

【場所】町健康福祉センター窓口(電話72-1852)

※希望する人は、事前に健康福祉センターへご連絡ください。窓口で問診票を記入していただきます。

今年も忘れず、がん検診を受けましょう!

○子宮がん検診・乳がん検診

	対象者	検査項目	自己負担金
子宮がん検診	20歳以上 (平成10年4月1日 より前に生まれた人)	子宮頸部の細胞診	400円
		問診により子宮体部の細胞診	700円
	30歳から39歳の人 (平成53年4月2日から 昭和63年4月1日生まれの人)	HPV検査(子宮頸がんの原因とされる HPVというウイルスの検査)	無料
乳がん検診	40歳以上で、昨年未受診の人 (昭和53年4月1日 より前に生まれた人)	マンモグラフィ検査(49歳以下:2方向)	500円
		マンモグラフィ検査(50歳以上:1方向)	400円

◆乳がん検診を昨年受診した人には、受診券に(済)と印字がありますので、ご確認ください。

【受付時間】午前の部:午前8時30分～午前9時30分 / 午後の部:午後1時30分～午後2時30分

実施日	会場	対象地区
8月25日(金)	山村開発センター	午前 根雨4・5・6区
		午後 根雨2・3区、津地、下榎2区、上本郷、下本郷、榎市、小原、別所
9月8日(金)	町公民館	午前 下黒坂、根妻、下菅、中菅、中菅中央、近江、畑、小河内、布瀬谷、下上菅、中上菅、上上菅、井ノ原、諏訪、漆原、下福長
		午後 黒坂1・2・3・4・5・6・7区、久住
9月20日(水)	山村開発センター	午前 三谷1・2区、貝原、舟場、野田、安原、下榎1区
		午後 根雨1区、高尾、後谷、金持、板井原、濁谷、門谷、秋縄、三土
10月29日(日) ※休日検診	山村開発センター	午後 ※補足日(事前予約が必要です)

◆日野病院で子宮がん検診(個別検診)を希望する人は、日野病院(電話72-0351)までお問い合わせください。(自己負担金700円、平日のみ受付)

風しん抗体価検査のご案内

鳥取県では、生まれてくる子どもを先天性風しん症候群から守るための対策として、保健所と医療機関で風しん抗体価検査を無料で行います。(過去に風しんの予防接種や抗体価検査を受けたことのある人は有料)

風しん抗体価検査が無料となる人

- ①妊娠を希望する女性
- ②妊婦の夫(事実上婚姻関係にある人も含む)
- ③妊婦または妊娠を希望する女性と同居している人(事実上婚姻関係にある人も含む)

【検査場所】米子保健所

(米子市東福原1-1-45)

【検査日時】毎週火曜日 午後1時～午後1時30分

【連絡先】0859-31-9317(米子保健所)

▼保健所で検査を受けることが難しい人は、県内の医療機関(郡内では日野病院・日南病院)でも検査を受けることができます。詳しくは県のホームページをご覧ください。

～町では平成29年度も風しん予防接種費用の助成を行っています～

▼助成対象 ①19歳以上～50歳未満の風しん抗体価が低い女性 ②妊婦の夫

▼自己負担 3,000円(差額は町が負担します)

※全額自費で接種する場合、医療機関によって8,000円～11,000円程度かかります。

▼詳しくは健康福祉センター(電話72-1852)までお問い合わせください。

読んでみたらんかな～

職員が勝手に
ススめる1冊♪
“今読みたい本”が
見つかるかも!?



『であえてほんとうによかった』

宮西達也 作・絵 / ポプラ社

この絵本は、恐竜で嫌われもののティラノサウルスと泣き虫のスピノサウルスとの心温まる友情物語です。ティラノサウルスがスピノサウルスの子どもに初めて出会ったとき、食べてやろうとしていたのに「ありがとう」「やさしい」「かっこいい」など言葉をかけられる度にティラノサウルスの心が変わっていきます。最後の結末にうっとりしてしまいます。言葉の大切さ、感謝する気持ちの大切さ…と色々なことが感じられる1冊です。

この絵本に出会い、言葉の持つ力を教えられました。思っても言葉にするのが恥ずかしくなったりもしますが、できるだけ言葉にして伝えていきたいと思えました。また、たくさんの方々との出会いを大切にしたいと思いました。

宮西達也さんの「ティラノサウルス」シリーズはまだまだあり、「愛情」「友情」などいろんなことが学べ、読むと心が温かくなります。子どもたちだけでなく、大人も様々なことが感じられると思いますので、ぜひ読んでみてください。



この本を紹介してくれたのは…

なごし まなみ
ひのっこ保育所 名越 愛 保育士

名越さんからひと言：

「今年度は、年中児のさくら組の担任をしています。子どもたちの目線でいろんなことを発見して教えてくれるところが楽しく、元気ももらっている毎日です。

ちなみに高校生までソフトテニスに励んでいました。まだまだ体力には自信があるつもりですが、子どもたちはマラソンをしたりよく動きます。私も子どもたちに負けないう、保護者の方と共に子どもたちの成長を見守りながら、一年間楽しく過ごしたいです」



教育委員会からのお知らせ

5月2日に教育委員会および総合教育会議を開き、次の案件などについて報告・協議されました。

【教育委員会】

以下が提案され、承認されました。

▼学校評議員、地域コーディネーターおよび英語教室講師の委嘱について

(協議事項) 以下が提案され、承認されました。

▼学校等計画訪問について、日程および内容について決定されました。

▼平成29年度全国学力・学習状況調査結果の公表について、個人情報保護の観点から、学校名は明示せず、小・中学校別の結果を広報紙で行うことについて決定されました。

(その他)

▼「日野町休日活動支援事業」「町史編さん委員会・小委

員会合同会議」などの内容について、報告がありました。

《次回の予定》

日時：6月7日(水) 午後1時30分 場所：役場会議室
※会議は公開しています。お気軽にお出かけください。

【総合教育会議】

・第2次日野町教育大綱について

現行の「日野町教育大綱」に代わる、平成29年度から平成32年度までの町の教育方針である「第2次日野町教育大綱」が策定されました。

《基本理念》「まちを愛し、豊かな心に灯をともし生きがいのあるまちづくり」※内容については、広報ひの6月号に掲載予定です。

町史編さんだより

第13回

『風光明媚な奥渡地区』

～『じげの宝』シリーズ vol. 4～

『町史編さんだより』の13回目は、政治・行政・教育小委員会が、地域の特徴や活動、行事、祭り、昔話、自慢などを聞き取り、紹介する『じげの宝』をお送りします。



▲文化祭を開くなど、文化活動が盛ん

奥渡地区には、別所・小原・榎市の3集落が点在しています。中国山地にそびえる笠岩の北側山間に位置し、昭和50年代に圃場が整備されるまでは、棚田が広がる素晴らしい山村の景観が見られました。昭和34年当時は59戸・357人で、農業(稲作)を中心に畜産(和牛)、林業(炭焼き)で生計が立てられ、3世代が暮らしていました。昭和11年、本郷地区にあった小学校の校舎を別所に移築し、日野小学校・小林分校が開校(本校は本郷加勢地に)。分校は4年生までで、開校時の児童は19人。その後の社会変化から少子化が進み、昭和53年に廃校になりました。小林分校は、学び舎であるとともに、地区民の集いの場所として使用されました。戦前には神楽や芝居が若者に



▲一時夏祭りも復活

よって催され、高見青年団も結成、その活躍は、目を見張るものがあつたとのこと。その後、学校は取り壊され、昭和54年に奥渡公民館が新築されました。村づくりの精神は子や孫に受け継がれ、公民館を核として、サッキ観賞会、文化祭、夏祭り、健康づくり教室、ちぎり絵教室などコミュニケーション活動が活発に行われました。また、婦人会も結成され料理教室で腕を磨き、一人暮らしの高齢者への給食サービスにも取り組み、文化、生活の向上に貢献しました。

映画「八つ墓村」ロケ地で全国に脚光を浴びる



▲ロケ地に見物人が押し寄せる

昭和49年に奥渡地区の上部を通る国道180号が開通し、人の往来が容易になり、思わぬ朗報が日野町・奥渡に舞い込んできました。それは、かねてから松竹映画社が全国各地で撮影中の横溝正史原作の「八つ墓村」ロケ地の一つに選ばれたことです。この映画監督の野村芳太郎氏は、「八つ墓村」のイメージに合う所を全国各地探し回ったが、困り果てていたところ岡山方面から国道180号を通り山陰へ。トンネルを抜け高台から眼下を見下ろすと、遠くに大山が展望でき、ここ(奥渡)が映画のイメージにピッタリでロケ地に決めたと話しています。

奥渡地区でのロケは、昭和51年から52年にかけて行われました。撮影用の大きな田舎家のセットや八つ墓村も造られ、出演者も渥美清、萩原健一、小川真由美、中野良子、山崎努、夏八木勲などそうそうたるメンバーが来町するとあって、ロケを見ようと連日観客が押し寄せ、田舎家炎上シーンの撮影時には全国各地から5千人もの人が、「八つ墓村」ファイバーを巻き起こし、「八つ墓村」のたたりじゃー」が流行語にもなりました。地元の人でもエキストラで6人ほどが出演し、俳優に家の提供、また、売店では飲み物や地元で採れた野菜、八つ墓頭なども販売されて、一日に30万円もの売り上げがあつたとか。町道の交通規制もあり、仕入れに苦労したと当時を振り返る人もいました。

それから40年経った現在(平成27年)は、少子・高齢化が進み37戸・102人で、人口は3分の1以下になってしま、高齢化率は52%に達しています。このような現状なかで、先祖から受け継いだ農地を守ろうと、集約化し担い手として農業に励む人、和牛の飼育・白ネギの生産に頑張る人もあります。